

失敗を笑顔で見守る力

子どもたちは失敗の連続です。転び、つまずき、這（は）い上がったの繰り返しで、歩き、走れるようになります。

発明家のエジソンは、「今までに、一度も失敗したことがない。電球が光らないという発見をして2万回したのだ」と言っています。そのエジソンを育てたのは母の力でした。少年エジソンの『なぜ?』の質問に対して、根気よく丁寧に理解するまで説明していたと言います。そして、失敗を叱ることなく笑顔で見守りました。するとエジソン少年は失敗を失敗と思わず、〴〵発見、だと思って育ったのです。

「良いこと」をした時に、褒めたり、喜んだりすることは比較的簡単にできる人が多いでしょう。しかし、子どもが「失敗」をした時に、笑顔で見守ることは簡単なことではありません。もちろん、人としていけないことはしっかり叱る必要があります。しかし、テストの点数が悪い、試合の結果が悪い、人間関係でうまくいかない、そんな時に笑顔でうなずき、見守られるかということです。

立派な人に育てようと必死になっている親は、子どもに失敗させないように失敗を叱りま



シャボン玉を追いかける子どもたち＝ばぶばぶフェスタ2013会場から

す。言葉に出さずとも、顔の表情や態度で嫌なそぶりを見せまします。失敗を叱れば、親の気持ちに反して、子どもは失敗に対してチャレンジする力を失っていきます。

失敗した時こそ親の出番です。失敗を笑顔で見守り、「失敗を発見に変える子育て」を心がけていきましょう。(パパ記者・吉村直記＝おへそ保育園園長)

※ご意見などを募集します。
メール mamapapa@saga-s.co.jp まで。過去記事は佐賀のブログハブサイト「saganPOST (サガンポスト、URL post.saga-s.co.jp)」に掲載。

平成25年11月13日
佐賀新聞掲載～ひびの子育て～
園長子育てコラムVOL.9
「失敗を笑顔で見守る力」